

研修報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名
三輝会

横光春市



会派代表者



会計責任者



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

研 修 者 三輝会 横光春市

期 間 令和7年11月13日(木)～14日(金)

視 察 先 東京都 リファレンス東京

視 察 用 務
①地域を元気にするアイデアと政策づくりの視点
②データを収集・分析して、もっと使える政策立案
③議会改革の再考、減少だけでなく未来を創る視点

研 修 講 師 関東学院大学法学部地域創生学科 教授 牧 瀬 稔

概要及び所見

【研修内容】

① 地域を元気にするアイデアと政策づくりの視点

- ・無いもの探しをするのではなく、あるもの探しを使用・・・政策に活かす
- ・地域活性化は、大きな「やかん」で沸かすか、小さな「やかん」で沸かす？

大きな「やかん」は時間をかけ泣けばわからないが、小さな「やかん」はすぐ沸く。

このことは、地域活性化は、5年から10年のスパンで考え、議員の任期4年かだからと言って早急に結果を求めてはいけない。

- ・みだしの効果を大切に(イメージ性)

同じリンゴでも、「無農薬リンゴ」(無農薬リンゴはなかなか作れなかった)と命名してもリンゴは売れなかったが、「奇跡のリンゴ」と命名したら、よく売れた。

- ・政策づくりは、「単眼思考」ではなく、「複眼思考」で考え、先入観や偏見を捨てて政策を創る。

② データを収集・分析して、もっと使える政策立案

・PDCAサイクルの落とし罠

PDCAサイクルを意識して事業(政策・施策)の推進に取り組めば、間違いなく成果は上がるが、これは、Pが政策にあっているという前提である。計画づくりが間違っていると成果は上がらない。……データが必要、それを分析して活用。

・先進事例は、必ずしも成功事例とはならない。例えば、上勝町へ「葉っぱビジネス」事業を多くの自治体等から視察に来るが、成功していない。

・成功事例は3カ所以上の事例から共通点を引き出し、事業を組み立てることが必要。

・統計のトリック、表し方(表・図形)のトリックをよく見てみよう

・前半に50%減少して、後半に60%増加した。もとに戻ったように見えて、元に戻っていないことを知ろう。

③ 議会改革の再考、減少だけでなく未来を創る視点

・議会の役割は、行政監視機能と政策立案機能である。

・議会活動は、「住民の福祉の増進」のために活動する。また、議会は、「議決機関」ではなく「議事機関」である。……地方自治法に明記

・議会改革の目的は、「住民の福祉の増進」になる。議会改革を目的化している傾向があるが、注意すること。議会改革の目的が、議会ランキングを気にしすぎる傾向があるが、行政期の監視機能の強化と、政策立案機能の拡充に真摯に取り組むことが必要である。

・議会改革は、従来のやり方、決まりなどを改め、「住民福祉の増進」のために、良くするように改めることである。

【所 見】

①②③の研修は、「政策づくり」の視点であり、その政策は、「住民の福祉の増進」を目的とする。住民が幸福感、普通に暮らすことができるように考えなくてはならないことを改めて考えさせられた。

データの収集も偏ったデータではならず。また、そのデータの見方もどの範囲の調査か見抜かなくてはならないし、誘導するデータもあることも見抜かなくてはならないことがよく分かった。

講師は残酷の自治体の政策づくりや条例改正とうにも関わっておられ、改めて、副業人材、とがった政策の実現のための人材を求めることの必要性を感じたところである。

